

2. 評価グリッド

評価項目	評価設問		必要なデータ	調査結果
	大項目	小項目		
実績の確認	1. プロジェクトの実績	ベトナム側投入の実績	カウンターパート(プロジェクトに必要な人員)	<p>主要カウンターパートについては、次の資料を参照。 参照: List of Counterpart of the Project</p> <p>参照: List of Facility and Equipment provided by NIHE 2006年から2008年10月までのベトナム側によるプロジェクト運営費用の合計額は VND 1,285,900,000で、US\$ 78,542相当になる。 参照: Budget Allocation by NIHE (JFY 2006-2008)</p>
		日本側投入の実績	日本人専門家派遣(長期・短期、各分野、人数、派遣期間、時期の投入内容)	<p>2008年10月までに、3名の長期専門家が派遣された。 内、前チームリーダーは08年4月に帰任、また、ウィルス学専門家は08年8月に帰任した。延べ約76ヶ月の派遣期間である。現チームリーダーは2008年6月29日に派遣された。 短期専門家は、06年に9名、07年に15名、08年10月までに10名、合計34名が派遣された。2006年から2008年10月までの延べ派遣日数は692日(約23人月相当になる) 参照: 1. List of Dispatched Experts (JFY 2006-2008)</p> <p>06年に3名、07年に5名、08年10月までに4名、合計12名が本邦で実施されたカウンターパート研修に参加した。 参照: List of Counterpart Training in Japan (JFY 2006-2008)</p>
		投入の実績 投入は計画通り実施されたか	CP研修(研修内容、人数、期間、費用)	<p>2008年10月までの供与総額は、US\$466,972 06年は、日本円建て41,381,000円 (US\$345,480) 米ドル建て US\$55,592 07年は、米ドル建て US\$42,000 08年は、米ドル建て US\$23,900 2008年10月までに、プロジェクトの現地業務運営費から購入した機材総額は、US\$80,480 両者をあわせると、総額US\$547,452 参照: List of Equipment based on A4 form (JFY 2006-2008) 参照: List of Equipment by project management fund (JFY 2006-2008)</p>
		活動の実績	ローカルコスト負担(活動予算と支出内容)	<p>2006年から2008年10月までの現地業務運営費の合計額は VND 2,940,194,000で、US\$183,068相当になる。 参照: Project Management Cost provided by JICA (JFY 2006-2008)</p>
		活動の進捗状況(活動は計画通り実施されたか) 活動に当たった問題点	活動の進捗状況 進捗に影響を与えた問題	<p>プロジェクト進捗状況資料のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> - モバイルBSL-3ラボおよびHTCBSL-3ラボの設置と本格稼働が遅れ、結果的に活動全体の進行がやや遅れた。 - PDM内ではあるものの、それぞれの成果を達成するために、より多くの活動を実施する必要性が出てきた。
		問題発現時に取られた対応	問題解決の仕組みと有効性	<ul style="list-style-type: none"> - NIHE内でも他部署を交えた会議(BS&MME会議やBS&MME部合同会議など)を開催し、問題解決に取り組んだ。

<p>「成果」の達成状況</p>	<p>成果1の達成状況 [NIHEにおけるバイオセーフティ規則・システムが整備される]</p>	<p>指標1-1: NIHEバイオセーフティ規則が作成される。 指標1-2: バイオセーフティ実験室で仕事をすすめるためのバイオセーフティ規則の研修を受ける。</p>	<p>① NIHEバイオセーフティ規則(第一版、第2版)が作成され、承認された。 BS規則の説明はBS基礎講習会の中でも行われている。 作成された研修マニュアルをもとに、BS基礎講習会がBS部が主催して他部署も協力して実施された。延べ42人が研修に参加している。基礎講習を受けた研究者は登録され、BSL-3ラボが使えるようになる。現在、18人が実際にBSL-3ラボを使っている。(詳細は実績表参照)</p>	<p>① BS規定の説明はBS部が実施するBS基礎講習会の中でもカバーされている。しかし、またすべてのユーザーがBS規定を実践しているわけではなく、今後BSコンセプトをもっとわかりやすく、理解して、実践してもらうために、IEO教材の開発、活用が必要である。 ② 他部署間との連携・調整を強化するために、BSL-3ラボマネジメント会議やBS&MME部合同会議がBS部が議長となって開催されるようになった。トライレクターメンバーで構成されているBS委員会も2007年以降3回開催されており、BS戦略計画やNIHE BS規則の編纂について話し合いが行われている。</p>	<p>① マネジメント会議にて、実績計画表を作成し、ある程度の情報共有はユーザーおよびBS部の間でされている。 ② BSL-3ラボにおいて病原体の取扱に関する能力は以前に比べて向上したとユーザーの自己評価があるが、専門家によると彼らの精度管理能力はまだ弱いと評価を受けている。</p>
<p>中間評価提言後の状況 ★BS部のリーダーシップの能力</p>	<p>中間評価提言後の状況 ★BS部のリーダーシップの能力</p>	<p>① BS実施規定の運用・モニタリング能力 ② 他部署間との調整能力</p>	<p>① BS規定の説明はBS部が実施するBS基礎講習会の中でもカバーされている。しかし、またすべてのユーザーがBS規定を実践しているわけではなく、今後BSコンセプトをもっとわかりやすく、理解して、実践してもらうために、IEO教材の開発、活用が必要である。 ② 他部署間との連携・調整を強化するために、BSL-3ラボマネジメント会議やBS&MME部合同会議がBS部が議長となって開催されるようになった。トライレクターメンバーで構成されているBS委員会も2007年以降3回開催されており、BS戦略計画やNIHE BS規則の編纂について話し合いが行われている。</p>	<p>① BS規定の説明はBS部が実施するBS基礎講習会の中でもカバーされている。しかし、またすべてのユーザーがBS規定を実践しているわけではなく、今後BSコンセプトをもっとわかりやすく、理解して、実践してもらうために、IEO教材の開発、活用が必要である。 ② 他部署間との連携・調整を強化するために、BSL-3ラボマネジメント会議やBS&MME部合同会議がBS部が議長となって開催されるようになった。トライレクターメンバーで構成されているBS委員会も2007年以降3回開催されており、BS戦略計画やNIHE BS規則の編纂について話し合いが行われている。</p>	<p>① マネジメント会議にて、実績計画表を作成し、ある程度の情報共有はユーザーおよびBS部の間でされている。 ② BSL-3ラボにおいて病原体の取扱に関する能力は以前に比べて向上したとユーザーの自己評価があるが、専門家によると彼らの精度管理能力はまだ弱いと評価を受けている。</p>
<p>成果2の達成状況 [NIHEにおけるBSL-3実験室の運用・維持管理体制が構築される]</p>	<p>成果2の達成状況 [NIHEにおけるBSL-3実験室の運用・維持管理体制が構築される]</p>	<p>指標2-1: 維持管理部門の設置、同部門及びスタッフの役割をNIHEが規定する。 TORの実施状況</p>	<p>維持管理部門が新たに設置され、エンジニアや技術者が配置された。MME部とも連携協力して業務を実施している。 維持管理のためのシステムが構築された。 本邦研修も実施され、5人のスタッフが参加した。また、日本人専門家によるベトナム現地研修も実施されており、これまでに11回実施された(トピックは様々)(詳細は実績表参照)</p>	<p>① 維持管理部門のスタッフの人員確保はでき、本邦研修にも参加し能力強化を図っているが、新しい業務ということもありまだまだ彼らが能力を発揮するまでには時間を要する。</p>	<p>① マネジメント会議にて、実績計画表を作成し、ある程度の情報共有はユーザーおよびBS部の間でされている。 ② BSL-3ラボにおいて病原体の取扱に関する能力は以前に比べて向上したとユーザーの自己評価があるが、専門家によると彼らの精度管理能力はまだ弱いと評価を受けている。</p>
<p>成果3の達成状況 [NIHEがBSL-3実験室における高危険度病原体の検査実施能力を持つ]</p>	<p>成果3の達成状況 [NIHEがBSL-3実験室における高危険度病原体の検査実施能力を持つ]</p>	<p>指標3-1: すべての実験実施に必要な書類が作成・実施される</p>	<p>BS研修マニュアルやインフルエンザ対象のSOPが作成された。しかし、他の病原体に特化したSOPの作成がまだ行われていない。 BS研修に参加した68人のNIHE研究者はBSL-3ラボが使える研究者として登録された。現在18人の研究者がラボを使って研究活動に従事している。 HTCBSL-3ラボ(Lab4)で動物実験用の器械検査の準備が始まった。 病原体登録システムはまた着手されていない(活動3-6)。(詳細は実績表参照)</p>	<p>① 維持管理部門のスタッフの人員確保はでき、本邦研修にも参加し能力強化を図っているが、新しい業務ということもありまだまだ彼らが能力を発揮するまでには時間を要する。</p>	<p>① マネジメント会議にて、実績計画表を作成し、ある程度の情報共有はユーザーおよびBS部の間でされている。 ② BSL-3ラボにおいて病原体の取扱に関する能力は以前に比べて向上したとユーザーの自己評価があるが、専門家によると彼らの精度管理能力はまだ弱いと評価を受けている。</p>
<p>CPの配置は適切か</p>	<p>CPの配置は適切か</p>	<p>配置されたCPの人数・専門分野・レベル・ポジションなど</p>	<p>① マネジメント会議にて、実績計画表を作成し、ある程度の情報共有はユーザーおよびBS部の間でされている。 ② BSL-3ラボにおいて病原体の取扱に関する能力は以前に比べて向上したとユーザーの自己評価があるが、専門家によると彼らの精度管理能力はまだ弱いと評価を受けている。</p>	<p>① マネジメント会議にて、実績計画表を作成し、ある程度の情報共有はユーザーおよびBS部の間でされている。 ② BSL-3ラボにおいて病原体の取扱に関する能力は以前に比べて向上したとユーザーの自己評価があるが、専門家によると彼らの精度管理能力はまだ弱いと評価を受けている。</p>	<p>① マネジメント会議にて、実績計画表を作成し、ある程度の情報共有はユーザーおよびBS部の間でされている。 ② BSL-3ラボにおいて病原体の取扱に関する能力は以前に比べて向上したとユーザーの自己評価があるが、専門家によると彼らの精度管理能力はまだ弱いと評価を受けている。</p>
<p>マネジメント体制</p>	<p>意思決定プロセス: 活動の変更、動向修正および人員の選定等にかかわる決定はどのようなプロセスでなされているか</p>	<p>意思決定のプロセス、それに起因する問題点</p>	<p>① マネジメント会議にて、実績計画表を作成し、ある程度の情報共有はユーザーおよびBS部の間でされている。 ② BSL-3ラボにおいて病原体の取扱に関する能力は以前に比べて向上したとユーザーの自己評価があるが、専門家によると彼らの精度管理能力はまだ弱いと評価を受けている。</p>	<p>① マネジメント会議にて、実績計画表を作成し、ある程度の情報共有はユーザーおよびBS部の間でされている。 ② BSL-3ラボにおいて病原体の取扱に関する能力は以前に比べて向上したとユーザーの自己評価があるが、専門家によると彼らの精度管理能力はまだ弱いと評価を受けている。</p>	<p>① マネジメント会議にて、実績計画表を作成し、ある程度の情報共有はユーザーおよびBS部の間でされている。 ② BSL-3ラボにおいて病原体の取扱に関する能力は以前に比べて向上したとユーザーの自己評価があるが、専門家によると彼らの精度管理能力はまだ弱いと評価を受けている。</p>

<p>2. プロジェクトの実施プロセス</p>	<p>モニタリングの実施状況</p> <p>プロジェクト内のコミュニケーション：日本人専門家、専門家とOP間のコミュニケーションは効果的に行われているか</p> <p>JICA本部・ベトナム事務所、国立感染症研究所等、日本との関係機関のサポート体制</p> <p>プロジェクトとベトナム側関係機関（NIHE、保健省）とのコミュニケーション</p> <p>技術移転のアプローチに問題はないか</p> <p>ベトナム側責任者（プロジェクト責任者、関係機関の責任者）のプロジェクトマネージメントへの参加の度合い</p> <p>ベトナム側から必要な予算・人員・機材等が手当てされているか</p> <p>OPのプロジェクトへの参加度</p> <p>プロジェクトで整備された機材の維持管理状況</p> <p>その他、プロジェクトの実施過程で生じた問題や、効果発現に影響を与えている問題はあるか。その要因。</p> <p>その他</p>	<p>モニタリングの仕組み（実施体制、頻度含む）</p> <p>モニタリング結果の利用状況</p> <p>PDM・POの活用状況</p> <p>コミュニケーションの頻度、方法、計画変更時の対応状況、共同で取り組む課題の解決方法、信頼関係の確立、CPの主体性、参加意識</p> <p>プロジェクトに対するサポート状況（コミュニケーションの頻度、方法、計画変更時の対応状況、協力内容）</p> <p>コミュニケーションの頻度、方法、計画変更時の対応状況、信頼関係の確立</p> <p>プロジェクトにおける技術移転の内容、方法</p> <p>ベトナム側責任者の意識と参加度合い</p> <p>ベトナム側の予算・人員配置状況</p> <p>OPのプロジェクトへの参加度合い</p> <p>機材の維持管理状況</p> <p>これまでプロジェクトの実施過程で提示された問題点と原因、およびその対応の状況</p>	<p>- 進捗状況を含んだ半期報告書および年次報告書を作成し、JICAに提出している。</p> <p>- 合同調整委員会（JCC）年に一度開かれた（2007年3月、2008年4月）</p> <p>- BS部長は専門家に来ていた間はできるだけアテンドに時間を割いて、様々な問題を把握するように努めている。また、日本人専門家はほとんどの会議（ジョイント会議やBS委員会会議など）に出席するように努めている。</p> <p>- 日本人専門家およびNIHEの両方で確認している。</p> <p>- マネジメントクラスのカウンターパートはPDMをよく把握しており、目的のほつきりした（Goal-orient）プロジェクトの全体像も理解している。</p> <p>- コミュニケーションの頻度、方法、計画変更時の対応状況、共同で取り組む課題の解決方法、信頼関係の確立、CPの主体性、参加意識</p> <p>- プロジェクトに対するサポート状況（コミュニケーションの頻度、方法、計画変更時の対応状況、協力内容）</p> <p>- コミュニケーションの頻度、方法、計画変更時の対応状況、信頼関係の確立</p> <p>- プロジェクトにおける技術移転の内容、方法</p> <p>- ベトナム側責任者の意識と参加度合い</p> <p>- ベトナム側の予算・人員配置状況</p> <p>- OPのプロジェクトへの参加度合い</p> <p>- 基本的に、通常運転は問題なくできています。</p> <p>- モバイルBSL-3ラボとHTCBSL-3ラボの操作性や施設規模の違いがあり、モバイルラボ操作の訓練を受けたスタッフがいても、また新たにHTC用ラボの操作研修を受けなければならず、ややスタッフ研修に時間がかかった。</p>
-------------------------	---	---	--

評価5項目

<p>1. 妥当性 終了時評価時点で、被援助国ニーズ、政策との整合性、日本の援助事業としての妥当性はあるか？</p>	<p>中間評価以降もベトナム国・地域・社会のニーズに合致しているか</p> <p>BSL-3実験室に関するスタッフのニーズに変化があったか</p>	<p>ベトナムの鳥インフルエンザ、新興感染症対策の状況。開発課題</p> <p>本件BSL-3実験室に関するスタッフのニーズ</p>	<p>- 2008年前半にはアウトブレイクが発生しており、今年に入って鳥インフルエンザ（H5N1）に関しては5件の報告がある（うち全員死亡）</p> <p>- 緊急事態に対応した訓練（避難訓練も含む）の必要性が出てきた。</p> <p>- 定期点検に向けた準備と、その際に技術支援が必要である。</p> <p>- 機材の維持管理の記録・データをもとに分析していく必要であるが、その分析能力を十分持ちあわせていない。</p>
--	---	--	---

<p>優先度</p>	<p>ベトナム国の政策との整合性</p> <p>日本の援助政策・JICA国別事業実施計画との整合性</p>	<p>ベトナム国の国家開発政策、保健政策、新興感染症対策との整合性</p> <p>日本の援助政策、JICA国別事業実施計画、援助重点分野</p>	<p>- "Strategy for socio-economic development 2001-2010" 5. Development of health and protection for people [to reduce the morbidity and mortality rates due to contagious disease.] - "Comprehensive Development Design for the Health System in Vietnam to 2010 and Vision by 2020" (2006 June) セクターの目標・方策として、新興感染症などの防止のための無償資金協力を動員することを課題として挙げている。 - "Five-year socioeconomic development plan 2006-2010" Major tasks and solutions can be [to raise the capacity to oversee, detect and control epidemics, particularly HIV/AIDS and newly arising epidemics.]</p> <p>- 「対ベトナム国別援助計画(第一次案)」(2008年5月3重点項目のうち2番目の「社会・生活面の向上と格差是正」の「基礎社会サービス向上」の中で、「感染症対策について、これまでの協力相手である国立衛生疫学研究所(NIHE)との関係を重視しつつ、流行状況に応じ新たな協力を検討する」と述べられている。 - 「対ベトナム国別援助計画」(2004年4月) 「新興再興感染症への支援を検討する」とある。 - 「ベトナム社会主義共和国国別援助実施方針(案)」(2008年5月)3重点分野のうち2番目の「社会・生活面の向上と格差是正」の中の「保健医療」において「新興感染症への対策」がいまだ問題視され、「国立衛生疫学研究所(NIHE)との関係を重視しつつ、その能力向上と自立発展性を促進する協力を行う」と明記している。</p>
<p>2. 有効性 (目標達成度) プロジェクトの実施により期待される効果が得られたか? プロジェクト計画は有効であるか?</p>	<p>プロジェクト目標達成の見込み</p> <p>プロジェクト目標の達成を阻害する要因はあるか</p> <p>設定された「成果」はプロジェクト目標達成のために十分か</p> <p>外部条件は満たされているか。満たされていない場合どう対応しているか。その他の外部条件が考えられるか。 外部条件・BSL-3実験室が無償資金協力によりNIHEに設置される</p>	<p>課題に対して、プロジェクト目標・成果の適切性(戦略性)</p> <p>プロジェクトで計画された「活動」→「成果」→「プロジェクト目標達成」→「上位目標達成」の論理性、外部条件の設定の適切性</p> <p>日本の比較優位性はあるか(ノウハウ・経験)</p> <p>OP機関ならびにターゲットグループ(BSL-3実験室関係スタッフ)の選定は適正だったか</p> <p>指標1. パイオセーフティ管理システムが設置・実施され、すべての必要な記録(実験内容・実験実施者の承認、実験室への入室、維持管理記録等)が規則に沿って作成される。</p> <p>阻害要因と対処方法</p> <p>因果関係と外部条件から確認される、プロジェクトの論理性</p> <p>無償によるBSL-3実験室整備の進捗状況はどうか。</p> <p>(その他考えられる外部条件) その状況・プロジェクトへの影響・対処状況</p>	<p>適切</p> <p>- 鳥インフルエンザだけを標的にしても成果はNIHE全体に波及しないのでは、BSL3が本格稼働した今、NIHE全体の診断研究の実践体制向上を図り、ベトナム全体の感染症対策の充実を図る必要があり、やはり鳥インフルエンザ以外(狂犬病、炭疽、結核、リケッチャ)の高危険度病原体の実験室実践技術の強化が必要である。</p> <p>- 長期・短期専門家の知見・経験を活かせる。 - NIIDの例を参考にできる。</p> <p>- 日本のNIIDのようにNIHEはベトナムで最高の感染症研究機関である。</p> <p>- すべての活動が実施される必要がありまた、BSL-3ラボ維持管理の安全性が確保できる(緊急時対応も含む)ようになることが必要である。 - 引き続きBS部の調整能力が鍵であり、能力が期待される。</p> <p>- 本格的な活動開始の時期が遅れたため、予定していた活動すべてを実施するにはまだ時間を要す。 - BS部(管理課および維持管理課)の増員が必要。</p> <p>- BS部マネジメント能力強化(リーダーシップ、調整能力も含め)が必要と指摘され、その後能力の向上が徐々に見られ、成果にもその効果が現え始めた。</p> <p>- 設置後、不具合が生じ、微調整に少し時間がかかっているが、全力で対処しているところである。</p> <p>- モバイルおよびHTOBSL-3ラボが稼働し、BS部の活動がさらに増えたこともあり、安全性を確保するにはさらなる増員が必要。</p>

<p>3. 効率性</p> <p>プロジェクトは効率的であるか(投入された資源量に見合ったアウトプットが達成されているか)</p>	<p>因果関係(アウトプットの産出)</p>	<p>「成果」を達成するために十分な活動であったか</p>	<p>「活動実績」と「成果実績」より判断</p> <ul style="list-style-type: none"> - 安全性の確保を徹底する必要がある(緊急時対応も含まれ、知識と経験が必要である。アータ分析能力も計画書の策定などに応用すべき) - 活動3-1&2に関しては鳥インフルエンザ以外についても対象とする必要がある。 - モバイルラボとHTCラボの技術移転の内容の違い>基本原則の訓練は同じ、しかし操作性や施設規模の違いから、想定以上にHTCラボに特化して訓練すべき事項が多かった。 - モバイルラボを使いこなすレベル、要カレベルまでは行ったが、HTCレベルは想定以上に高く、さらなる研修・技術支援が必要となり、時間を要した。 - モバイルラボだけであれば機材部の連携が必要ではなかったが、HTCラボも両方稼働させるにはBS部と機材部の連携協力関係なしには成り立たない(一連携強化にも時間を要した)
<p>「成果」を達成するために十分な投入であったか</p>	<p>「投入実績」と「成果実績」より判断</p>	<p>外部条件が満たされているか、満たされていない場合どう対応しているか。その他の外部条件が考えられるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> - ほぼ適切。(長期(施設)専門家が必要だったが、中間評価後、比較的長い短期専門家を投入に成功) - 離職したスタッフは少ないが、現在2名は休職中(1人は病欠、もう一人は海外留学中)。補充要員として早急に2名入れ、1名は本邦研修実施済み、もう一人はまだ。 - 特になし
<p>投入の適切さ(タイミング、質、量)</p> <p>アウトプットは投入に見合ったものか?より低いコストで達成する代替手段はなかったか?同じコストでより高い達成度合いを実現できなかつたか?</p> <p>プロジェクト目標の度合いは投入コストに見合ったものであるか?</p>	<p>日本側投入の適正度: 活動を実施するために、投入の量(コスト)、質、タイミング・活用状況は適切だったか</p>	<p>日本側投入の適正度: 活動を実施するために、投入の量(コスト)、質、タイミング・活用状況は適切だったか</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 基本的に同じ専門家が短期で複数回に分けて派遣された。専門性の高い、分野に適した人材が派遣された。 - 機材関係の専門家の投入が必要となり、岡田さん(5か月長期タイプの短期)成果②の役割を果たした。 - 進捗状況に合わせて派遣時期を考慮した。 - 年を重ねるごとに、研修内容が充実しました実践的になった、それぞれOPのニーズに合わせて準備されたということもあり、OPからも高い評価を受けている。 - モバイルラボの設置が、予定より遅くなった。通常と違う機材装置を輸入・輸出することもあり、手続きが複雑かつ予測できない部分も多々あった。日本側ベトナム側とも、迅速に進むよう最大限の努力をしたが、それでも予定よりは遅れた。 - 他の機材はBSL-3モバイルラボ設置タイミングに合わせて順調に供与された。
<p>上位目標の達成見込み</p>	<p>上位目標の達成見込み</p>	<p>上位目標の達成を阻害する要因はあるか</p>	<p>適切である</p> <ul style="list-style-type: none"> - 2人不在(1人病欠、1人留学)、BS部(管理課および維持管理課)に人員が必要である。BS部の設置、人材の雇用 - プロジェクト事務所の提供、モバイルラボ関係の機材提供 - モバイルラボの設置費の負担、点検用測定機の一部を供与、HTC&モバイルラボの光熱費・燃料費負担、 - 特になし
<p>4. インパクト</p> <p>プロジェクトを実施した結果、どのようなプラス・マイナスの波及効果があったか?</p>	<p>因果関係</p>	<p>上位目標とプロジェクト目標は乖離していないか</p>	<p>指標1 BSL-3病原体を扱う研究者の登録人数及び実際に使用した人数、BSL-3病原体の診断・検査・研究の実施数が増加する、達成度合い</p> <p>実績、外部条件(外部条件:BSL-3実験室の運用・維持管理のための予算・人員が適切に手当てされる)の影響確認、貢献・阻害要因の事例、プロジェクト以外に上位目標に影響を与えた要因</p> <p>プロジェクトの論理性、外部条件の影響、貢献・阻害要因の確認</p>

	外部条件は現時点でも正しいか。満たされる可能性が高いか。	外部条件: BSL-3実験室の運用・維持管理のための予算・人員が適切に手当てされる。	NIHEは予算確保にコミットしている(HTCの定期点検の予算申請中、維持管理の予算確保はしている)。
波及効果	想定されていないなかったプラスの影響はあるか	プロジェクト関係機関内への波及効果の事例 政策・制度面、社会文化面等への影響 ・政策、法律、制度等の整備 ・技術面の変革 ・環境保護への影響 ・社会的階層、民族、ジェンダー等による異なる影響等	なし
5. 自立発展性	プロジェクトの効率は今後も継続していくか？(プロジェクトの効果を最大限生かすべくには何が必要か)	鳥インフルエンザ、新興感染症対策に関するベトナム政府の政策支援は協力終了後も継続すると思われるか(国家政策の中で位置づけの確認) NIHEは協力終了後も、活動を実施していける体制・人員を有するか CPのプロジェクトへのオーナーシップは高いか ベトナム側の予算の確保は行われているか CPの定着率 CPは技術・能力は、プロジェクト終了後も自力で活動を継続できる水準に向上する見込みがあるか 本プロジェクトの結果がプロジェクト終了後も継続して活用されるための手立てをしているか - アウトプット(実験技術、規則、書類)の継続活用の可能性 - 活動に伴う財源計画能力と確保の可能性 持続性の発現要因と阻害要因は何か	- 非常に高く、国もNIHEに期待している。 - BS部の人員体制整備には協力的 - 非常に高い、ベトナム初の実験室の成功に、責任感があり、今後も継続する意欲は高い。 - NIHEは予算確保にコミットしている(HTCの定期点検の予算申請中、維持管理の予算確保はしている) - 現在研修を受けた2人が不在(1人病欠、1人留学)。それ以外のスタッフは定着している。 - 通常稼働できる能力はついているが、緊急時対応などに対応できる応用力は十分ではない。そのためには、経験の積み上げと技術指導が引き続き必要である。 - 作成されたマニュアルや規則は随時更新をしつつ、活用している。(今後応用できるよう指導する必要がある。) - 維持管理の予算確保はしており、またHTCの定期点検の予算は申請中である。検査診断に係る費用は通常負担している。 - 研修に係る関連費用もJICAと共同で負担している。 - ベトナム政府のコミットメントはみられる。
持続的効果の発現要因と阻害要因	持続的効果の発現要因と阻害要因は何か	今後のプロジェクトの展開についての計画・構想、助言等	国内のレファレンスラボだけでなく、近い将来は近隣国への技術指導ができるレベルなること。

3. インタビュー用質問票

ベトナム国 国立衛生疫学研究所能力強化プロジェクト 終了時評価
質問票(専門家用)

専門家氏名:

担当業務:

任期:

1. プロジェクト実績およびプロセス

評価項目	小質問				理由・コメント		
	1	2	3	4			
1.1 活動実施状況	1.1.1	これまでの担当のご活動は予定通り順調でしたか。	全く計画通りではなかった	ほぼ計画通り	計画通り		
	1.1.2	計画通りでなかった場合、計画と乖離した理由をお答えください。	理由				
1.2 プロジェクトの実績	1.2.1	プロジェクトの「成果」①～③それぞれの達成の見込みをどうお考えですか。					
		成果①: NIHEにおけるハイオセーフティ規則・システムが整備される。成果の達成の見込みはありますか? 具体的な理由、お考えもお書きください。	全くそう思わない	あまりそう思わない	ほぼそう思う	大変そう思う	詳細
		★BS部のリーダーシップの能力について: ハイオセーフティ部のユーザー部門である他部署との調整能力やBS実施規定の運用・モニタリング能力は向上したと思われませんか? 具体的な説明もお書きください。	全くそう思わない	あまりそう思わない	ほぼそう思う	大変そう思う	詳細
		成果②: NIHEにおけるBSL-3実験室の運用・維持管理体制が構築される。成果の達成の見込みはありますか? 具体的な理由、お考えもお書きください。	全くそう思わない	あまりそう思わない	ほぼそう思う	大変そう思う	詳細
		★HTCおよびBSL-3の運用・維持管理能力の強化について: NIHEが適切な人材を確保し、期待通り業務遂行していると思いませんか? 具体的な説明もお書きください。	全くそう思わない	あまりそう思わない	ほぼそう思う	大変そう思う	詳細
		成果③: NIHEがBSL-3実験室における高危険度病原体の検査実施能力を持つ。成果の達成の見込みはありますか? 具体的な理由、お考えもお書きください。	全くそう思わない	あまりそう思わない	ほぼそう思う	大変そう思う	詳細
		★ハイオセーフティ部が高危険度病原体取扱いに関する研修を行うにあたって、実験部門のスタッフを講師・指導者と巻き込みましたか。具体的な説明もお書きください。	全くそう思わない	あまりそう思わない	ほぼそう思う	大変そう思う	詳細
		★BSL-3実験室での検査・研究の実施計画策定にあたって、ベトナム側から情報共有・相談は十分に行われましたか。	全くそう思わない	あまりそう思わない	ほぼそう思う	大変そう思う	詳細
		ご担当の「成果」の達成に特に貢献したと思われること、また達成を阻害したと思われることがあれば記載してください。					
		ご自身のCPの技術習得をどのように評価しますか。不足していると思われる場合、その事項と理由も書きください。	全く不足している	やや不足している	だいたい習得している	十分習得している	習得が不足している事項・理由
2.1 プロジェクト運営管理体制	2.1.1	プロジェクトの現場で、プロジェクトに関する意思決定は、日本側及びベトナム側で、誰が、どのように、どんなタイミングで行っていますか(方針や活動の変更、人員の選定等)					
	2.1.2	プロジェクト運営管理体制について、改善すべき点があればお書きください。					
2.2 プロジェクトのモニタリング	2.2.2	モニタリングはどのように行っていますか(誰が、どのくらいの頻度で、どのような方法で(記録・報告のフォーマット等)、誰に報告しているか)					
	2.2.1	プロジェクトのモニタリング方法は適切だと思いますか。	全く適切でない	あまり適切でない	ほぼ適切	大変適切	理由

2. 実施のプロセス	2.3 プロジェクト内のコミュニケーションのあり方	2.3.1 日本人専門家とCPとのコミュニケーションは良好ですか。改善が望ましいと思われる点がありましたら、ご説明ください。	全く良好でない	あまり良好でない	ほぼ良好	大変良好	改善点
		2.3.2 日本人専門家間でのコミュニケーションは良好ですか。改善が望ましいと思われる点がありましたら、ご説明ください。	全く良好でない	あまり良好でない	ほぼ良好	大変良好	改善点
	2.4 ベトナム側のオーナーシップ	2.4.1 ベトナム側責任者(プロジェクト責任者、関係機関の責任者)は、プロジェクト運営にあたりイニシアティブをとっていると思いませんか。	全くとっていない	あまりとっていない	かなりとっている	非常にとっている	詳細
		2.4.2 CPのプロジェクトへの参加度またはオーナーシップは高いですか。	大変低い	低い	高い	大変高い	詳細
	2.5 技術移転	2.5.1 技術移転の方法(アプローチ)に関して、どんな問題がありましたか。それに対してどんな工夫をされましたか。	問題				工夫
		2.6 その他	2.6.1 その他、プロジェクトの実施過程で生じている問題がありましたら記載してください。				

3. 評価5項目

評価項目	大質問	小質問	1 2 3 4				理由・コメント	
			1	2	3	4		
3. 妥当性		3.1.1 3.1 必要性	ベトナム国及びターゲットグループ(BSL-3ラボ関係者)のニーズに応える戦略として本プロジェクトを見た場合、「プロジェクト目標及び成果」、「カウンターパート機関や職員」は適切だと思いますか。	全く適切でない	あまり適切でない	ほぼ適切	大変適切	詳細
		3.2.1 3.2 手段の適切性	本プロジェクトの「活動」→「成果」→「プロジェクト目標」→「上位目標」の流れは、外部条件とともに適切に組み立てられていると思いませんか。	全く適切でない	あまり適切でない	ほぼ適切	大変適切	詳細
		3.2.2	本プロジェクト実施にあたって、技術・ノウハウ等、日本の優位性はあると思いませんか。	全くそう思わない	あまりそう思わない	ほぼそう思う	大変そう思う	詳細
4. 有効性		4.1.1 4.1 プロジェクト目標の達成予測	プロジェクト目標「NHEが国際基準に沿ったBSL-3実験室における適切な高汚染度病原体の取り扱い能力を持つ」がプロジェクト終了までに達成する見込みはどれほどだと思いますか。	低い	あまり高くない	高い	非常に高い	
		4.1.2	そう思われるその理由は何かですか。					
		4.2.1 4.2 「成果」「プロジェクト目標」達成の条件	本件の「成果」や「プロジェクト目標」を達成するために、特に重要と思われることがあればお書きください。 例として、 ・事業終了時までに重点的に行っていくべき活動 ・「成果」や「プロジェクト目標」の達成に特に影響を与えるであろう条件					
		5.1.1	ご自身の、本プロジェクトにおける専門家としての派遣内容は適切でしたか(それぞれの項目ごとにはまるものをそれぞれ選んでください)。何かご意見がありましたら、お書きください。	全く適切でない	あまり適切でない	ほぼ適切	大変適切	意見
5.1 専門家派遣			派遣期間					
			タイミング					
			担当専門分野					
			専門担当分野					
			人数					
			派遣期間					
			タイミング					
			プロジェクト全体として、日本人専門家の派遣内容は適切でしたか(それぞれの項目ごとにはまるものをそれぞれ選んでください)。何かご意見がありましたら、お書きください。	全く適切でない	あまり適切でない	ほぼ適切	大変適切	意見

5.2 カウンタートリート 研修	5.2.1	カウンタートリート研修の内容は適切でしたか。 (それぞれの項目ごとにあてはまるものをそれぞれ選んでください)	参加者の人選 研修コースの内容やレベル 期間とタイミン	全く適切でない	あまり適切でない	ほぼ適切	大変適切	詳細
	5.2.2	カウンタートリート研修に参加した研修員は、ベトナムに帰国後、研修で習得した知識や技術を職場で活用していますか。 事例などありましたら記載してください。	研修コースの内容やレベル	全く活用していない	あまり活用していない	ある程度活用している	大変活用している	活用事例
	5.2.3	カウンタートリート研修に関し、改善すべき点がありますか。						
5.3 機材供与	5.3.1	日本側から供与された機材の選定は適切でしたか(それぞれの項目ごとにあてはまるものをそれぞれ選んでください)。適切ではなかった場合、どのように対処しましたか。	種類や仕様 台数 価格	全く適切でない	あまり適切でない	ほぼ適切	大変適切	対処方法
	5.3.2	機材の供与のタイミングは適切でしたか。適切ではなかった場合、どのように対処しましたか。		全く適切でない	あまり適切でない	ほぼ適切	大変適切	対処方法
	5.3.3	供与された機材のうち、活用されていないものはありますか。その理由は何か。						
5.4 運営費(日本側)	5.4.1	プロジェクト運営費(日本側)の額や支出のタイミングは適切でしたか。 (それぞれの項目ごとにあてはまるものをそれぞれ選んでください)	運営費の額 支出のタイミング	全く適切でない	あまり適切でない	ほぼ適切	大変適切	詳細
	5.5.1	CPの人選・配置(人数、専門分野、立場、役割等)は適切でしたか。 (それぞれの項目ごとにあてはまるものをそれぞれ選んでください)	派遣期間	全く適切でない	あまり適切でない	ほぼ適切	大変適切	詳細
			タイミン					
5.5.2	CPの人選、配置等に関して、改善が望ましいことはありますか。	担当分野						
5.6 ベトナム側の施設・機材の配備	5.6.1	プロジェクト事務所の施設環境はプロジェクト活動実施にとって良好ですか。		全く良好でない	あまり良好でない	ほぼ良好	大変良好	
	5.6.2	ベトナム側から適切な施設・機材が提供されましたか。 そうでない場合、の理由をお書きください。		全く適切でない	あまり適切でない	ほぼ適切	大変適切	
	5.7.1	プロジェクト運営費(ベトナム側)の額や支出のタイミングは適切でしたか。 (それぞれの項目ごとにあてはまるものをそれぞれ選んでください)	派遣期間 タイミン	全く適切でない	あまり適切でない	ほぼ適切	大変適切	詳細

5. 効率性

6.1 上位目標達成の見込み	6.1.1	上位目標「NIHEのBSL-3実験室が完全に機能し、維持管理される」は、プロジェクト5年以内に発現すると思いますか。理由は何ですか。	全くそう思わない	あまりそう思わない	ほぼそう思う	大変そう思う
	6.2.2	上位目標達成のための外部条件(BSL-3実験室の運用・維持管理のための予算、人員が適切に配置される)が満たされる可能性は高いと思いますか。	全くそう思わない	あまりそう思わない	ほぼそう思う	大変そう思う
	6.2.3	その他、上位目標の達成を阻害する要因はあると思いますか。あるとしたらどんなことが考えられますか。				
6.2 インパクト	6.2.1	プロジェクト実施により、当初想定されていたなかったプラスの効果はありましたか。				
	6.2.2	プロジェクト実施により、当初想定されていたなかったマイナスの効果はありましたか。				
	6.2.3	上記、マイナスの効果を整減する対策としてどんなことを実施していますか。または どんなことが考えられますか。				
7 自立発展性	7.1.1	本プロジェクトで扱っている課題に対するベトナム政府の政策・方針は、本プロジェクト終了後も継続する見込みがあると思いますか。その理由についてもお書きください。	全くそう思わない	あまりそう思わない	ほぼそう思う	大変そう思う 理由
	7.1.2	NIHEは、組織運営体制の面から考えて、プロジェクト終了後も活動を実施していける体制を有すると思いますか。理由についてもお書きください。	全くそう思わない	あまりそう思わない	ほぼそう思う	大変そう思う 理由
	7.1.3	OPの能力(知識、技術、運営管理能力等)ややる気は、日本の協力終了後も、OPが業務を自立的に行っているレベルにあると思いますか。理由についてもお書きください。	全くそう思わない	あまりそう思わない	ほぼそう思う	大変そう思う 理由
	7.1.4	日本の協力終了後も、施設・設備・機材を、ベトナム側が自力で使用・維持管理できる技術レベルにありますか。そう思わない場合、どの部分の技術の習得は必要だと思えますか。	全くそう思わない	あまりそう思わない	ほぼそう思う	大変そう思う 事項
	7.1.5	日本の協力終了後も、財源計画能力を持ち、NIHEは活動に伴う財源を確保できると思いますか。	全くそう思わない	あまりそう思わない	ほぼそう思う	大変そう思う
	7.1.6	プロジェクトで得られた効果が引き続き発現していくために必要な貢献要因は何だと思えますか。				
	7.1.7	プロジェクトで得られた効果が引き続き発現していく中で考えられる阻害要因は何だと思えますか。				
	7.1.8	今後プロジェクトがどのように展開していくと思われれますか。持続的効果が出るためにどのような助言をされますか。				
その他、本プロジェクトに関する事、また終了時評価調査に関する事など、ご意見・コメントなどがありましたら、自由にお書きください。ご協力ありがとうございました。						

Title/Function:

Achievements and Process		Questions							
Item	Topics	1	2	3	4				
		Reasons/comments							
1. Achievement	1.1 Activities	1.1.1	Please state your roles and responsibilities in this Project.						
		1.1.2	Do you think that your activities in this Project have been implemented as planned?	Not at all	Only to some extent	Sufficiently	Very much		
		1.1.3	If any activity was not implemented as planned, what was the reason?						
	1.2 Achievement of "Outputs"		1.2	To what extent have the "Outputs" of which you are in charge been achieved as planned?					
			1.2.1	Output 1: "Biosafety regulation/system in NIHE which includes management and operation of BSL-3 laboratory is established."	Not at all	Only to some extent	Sufficiently	Very much	Reasons
			1.2.2	Do you recognize leadership of Biosafety department? (e.g. capacity for operating and monitoring biosafety regulation, coordination capacity among other departments)	Not at all	Only to some extent	Sufficiently	Very much	Reasons
			1.2.3	Output 2: "The capacity of NIHE to operate and maintain BSL-3 laboratory is established."	Not at all	Only to some extent	Sufficiently	Very much	Reasons
			1.2.4	Do you think that NIHE has enough and suitable human resources to operate and maintain BSL-3 laboratory?	Not at all	Only to some extent	Sufficiently	Very much	Reasons
			1.2.5	Output 3: "The capacity of NIHE to conduct laboratory testing of highly hazardous transmissible pathogens in BSL-3 laboratory is established"	Not at all	Only to some extent	Sufficiently	Very much	Reasons
			1.2.6	Do you think NIHE has shared information and consulted with the Japanese experts when making a plan of laboratory tests and research at BSL-3 labs of HTC?	Not at all	Only to some extent	Sufficiently	Very much	Details:
	2.1 Project management		2.1.1	Have you experienced any difficulties in the decision-making process of the project? What were they?	Not at all	Only to some extent	Sufficiently	Very much	Reasons
			2.2.1	How do you monitor the progress of the "Activities" that you are in charge? (How often? In what format? To whom is it reported?)	Very much	Sometimes	Only to some extent	Not at all	Details:
	2.3 Communication among the Project members		2.3.1	Have you experienced any difficulties in communicating with the Japanese experts?	Very much	Sometimes	Only to some extent	Not at all	Details:
2.3.2			What were the difficulties?						
2.4.1			Do you think that the Project works in good relationship with the Vietnamese and Japanese partner organizations? Vietnamese partner organizations: NIHE, Ministry of Health Japanese partner organizations: JICA, National Institute of Infectious Diseases If there were any problems, what were they?	Not at all	Only to some extent	Sufficiently	Very much	Details	
2.5 Ownership		2.5.1	Do you think that the Vietnamese project members take initiative in the Project activities? In what way (example)?	Not at all	Only to some extent	Sufficiently	Very much	(example)	
		2.5.2	If you think that the Vietnamese project members do not take initiative enough, what is the reason?						

Five-criteria Evaluation Questions							
Item	Topics	Questions	1	2	3	4	Reasons/comments
3 Relevance	3.1 Needs	3.1.1 Do you think that this Project is effective as a strategy to control emerging and re-emerging infectious diseases and mitigate the impacts in terms of: * Appropriateness of the Project Purpose and Outputs * Selection of the Vietnamese counterpart organization and staff Why do you think so?	Not at all	Only to some extent	Sufficiently	Very much	
		3.1.2 Why do you think so?					
	3.2 Appropriateness	3.1.3 Do you think that the Project benefit from Japanese skills, knowledge and experience in this field?	Not at all	Only to some extent	Sufficiently	Very much	
		3.1.4 Why do you think so?					
4 Effectiveness	4.1	3.1.1 Do you think that the "Project Purpose" will be achieved by the end of the Project? (Project purpose: "NIHE has capacity to examine highly hazardous transmissible pathogens properly in the BSL-3 laboratory that meets international standard".)	Not at all	Only to some extent	Sufficiently	Very much	
		4.1.2 What actions would you suggest for achievement of the Project Purpose?					
5 Efficiency	5.1 Vietnamese project members	5.1.1 Do you think that the selection of the Vietnamese Project members (who are involved in planning, implementation and monitoring of the Project) was adequate in terms of expertise, position, assignment, number, etc? (Please select one out of multiple-answers for each question)	Not at all	Only to some extent	Sufficiently	Very much	
		Expertise Position and assignment Number					
	5.2 Financial and in-kind input provided by the Vietnamese side	5.1.2 Do you have any suggestions for improvement of selection of the Vietnamese Project members?					
		5.2.1 Have the financial and in-kind inputs by the Vietnamese side been provided sufficiently and timely?	Not at all	Only to some extent	Sufficiently	Very much	
	5.3 Japanese experts	5.2.2 Do you have any suggestions for improvement of provision of the financial and in-kind inputs by the Vietnamese side?					
			5.3.1 Do you think that the Japanese experts met the needs of the Project in terms of expertise, experience, duration of service, timing, etc? (Please select one out of multiple-answers for each question)	Not at all	Only to some extent	Sufficiently	Very much
5.4 Counterpart training	5.3.2 Do you have any suggestion for improvement of dispatch of Japanese experts?	Expertise Duration of service Timing					
		5.4.1 Did you participate in a counterpart training course in Japan?	No	Yes			
	5.4.2 (If you answered YES to 1.7.1). Do you apply the skills and knowledge that you learned in the training course to the Project activities (or your work)?		Not at all	Only to some extent	Sufficiently	Very much	How?
	5.4.3 (If you answered NO to 1.7.1). Have you had opportunities to learn new skills/knowledge from the colleagues who participated in the counterpart training in Japan? What did you learn?						

		Do you think that the equipment provided by Japan was appropriate in terms of selection, specs, quantity, quality, timing, etc? (Please select one out of multiple-answers for each question)	Not at all	Only to some extent	Sufficiently	Very much
5.5 Provision of equipment	5.5.1	Selection, specs quantity quality timing				
	5.5.2	Is the equipment fully utilized and maintained?	No	Yes	Details	
	5.5.3	If there is any item that is not fully utilized or maintained well, what is that item? What is the reason?				
5.6 Project cost provided by the Japanese side	5.6.1	Has the operational budget provided by the Japanese side appropriate in terms of amount and timing?	Not at all	Only to some extent	Sufficiently	Very much
	5.6.2	Do you have any suggestions for improvement of provision of operational budget by the Japanese side?				
	6.1.1	Do you think that the Overall Goal will be achieved within five years after the end of the Project? (Overall Goal: "BSL-3 Laboratories are fully functioned and maintained in NIHE.")	Not at all	Only to some extent	Sufficiently	Very much
6 Impacts	6.1.2	Are there any contributing factors? If so, what are they?				
	6.1.3	Are there any obstacles to achieve the Overall Goal? If so, what are they?				
	6.1.4	Is there any unforeseen POSITIVE impact of the Project?				
	6.1.5	Is there any unforeseen NEGATIVE impact of the Project?				
	7.1.1	Do you think if there will be any political support to the actions against avian influenza and emerging infectious diseases in Vietnam? Why do you think so?	Not at all	Only to some extent	Sufficiently	Very much
	7.1.2	Do you think NIHE's organizational structure will be established to maintain the level of the activities and staff allocation after the Project ends. Why do you think so?	Not at all	Only to some extent	Sufficiently	Very much
	7.1.3	Do you think the Vietnamese Project members have sufficient level of skills and ownership towards the Project to maintain and manage independently? Why do you think so?	Not at all	Only to some extent	Sufficiently	Very much
7 Sustainability	7.1.4	Do you think the Vietnamese Project members are likely to remain the same position after the Project ends? Why do you think so?	Not at all	Only to some extent	Sufficiently	Very much
	7.1.5	Do you think the Vietnamese project staff are likely to maintain their skills so that they can perform the functions independently after the Project ends?	Not at all	Only to some extent	Sufficiently	Very much
	7.1.6	Is there any plan of budget allocation to the Project by the Vietnam side? Why so?	Not at all	Only to some extent	Sufficiently	Very much
	7.1.6	Can you think of important/contributing factors to manifest project effects in the future?				
	7.1.7	Can you think of any obstacles when manifesting project effects in the future?				

	7.1.8	What are your suggestions in order to sustain the Project outcomes even after the Project ends?
<p>Thank you for your cooperation. If you have comments on this Project and the Final Evaluation, please write here freely.</p>		

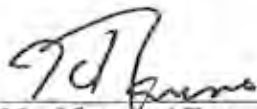
4. プロジェクト延長に関する討議議事録 (R/D)

RECORD OF DISCUSSIONS
BETWEEN JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
AND
AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE SOCIALIST REPUBLIC OF VIETNAM
ON THE EXTENSION OF JAPANESE TECHNICAL COOPERATION PROJECT
FOR CAPACITY DEVELOPMENT FOR NATIONAL INSTITUTE OF HYGIENE AND
EPIDEMIOLOGY TO CONTROL EMERGING AND RE-EMERGING INFECTIOUS
DISEASES IN THE SOCIALIST REPUBLIC OF VIETNAM

With regard to the extension of the Japanese Technical Cooperation Project for Capacity Development for National Institute of Hygiene and Epidemiology (hereinafter referred to as "NIHE") to Control Emerging and Re-emerging Infectious Diseases in the Socialist Republic of Vietnam (hereinafter referred to as "the Project") based on the Record of Discussions signed in Hanoi on March 20th, 2006, Mr. Motonori TSUNO, the Chief Representative of the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") in the Socialist Republic of Vietnam, held a series of discussions with the authorities concerned of the Government of Vietnam. The discussions were in accordance with the Minutes of Meetings of the joint terminal evaluation conducted by the Japanese Terminal Evaluation Team and the authorities concerned of the Government of Vietnam signed in Hanoi on November 25th, 2008.

As a result of the discussions, both sides agreed to extend the Project as described in the document attached hereto.

Hanoi, March 16, 2009



Mr. Motonori Tsuno
Chief Representative
Vietnam Office
Japan International Cooperation Agency
Japan



Dr. Nguyen Tran Hien
Director
National Institute of Hygiene and
Epidemiology
Ministry of Health
The Socialist Republic of Vietnam



Dr. Tran Thi Giang Huong
Director General
International Cooperation Department
Ministry of Health
The Socialist Republic of Vietnam



Mr. Ho Quang Minh
Director General
Foreign Economics Relations Department
Ministry of Planning and Investment
The Socialist Republic of Vietnam

THE ATTACHED DOCUMENT

I. TERM OF EXTENSION

The duration of the extension of the Technical Cooperation Project for Capacity Development for NIHE to Control Emerging and Re-emerging Infectious Diseases in Vietnam (hereinafter referred to as "the Project") will be one and a half year from March 20th, 2009.

II. SCOPE OF THE EXTENSION

The activities of the Project for the extension period are shown in the Appendix 1 as the Tentative Plan of Operation for Extension Period.

III. All matters other than those mentioned above will be regarded as the same manner as prescribed in the Record of Discussions signed in Hanoi on March 20th, 2006.

Appendix 1 Tentative Plan of Operation for the Extension Period

Appendix 1 Recommended Tentative Plan of Operation for Extension Period

Year	Japanese Fiscal Year	2009												2010					In charge											
		JFY2009												JFY2010					NIHE	JICA										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8			9									
Monitoring & Evaluation	Month	★JCC																												
Activity																														
2-2	More advanced training to operate and maintain the HTC BSL-3 laboratories				↑			↑		↑											↑								BS Dept. MME Dept.	LE, SE (BS & Lab. Maintenance)
2-2	Training on emergency response				↑			↑		↑											↑								BS Dept. MME Dept.	LE, SE (BS & Lab. Maintenance)
2-3	Regular inspections				↑																	↑							BS Dept. MME Dept.	LE, SE (BS & Lab. Maintenance)
2-3	Data analysis for operation and maintenance																					↑							BS Dept.	LE, SE (BS & Lab. Maintenance)
Activity																														
3-1	Adding a section of sharing a laboratory with different pathogens to existing SOPs and training manuals							↑																					BS Dept. and user depts.	LE, SE (BS)
3-1	Development of SOPs and training manual with focus on each pathogenic agent to test at the BSL-3 laboratories									↑																			BS Dept. and user depts.	LE, SE (BS & Lab. Testing)
3-2	Training for researchers based on the manual above									↑																			BS Dept. and user depts.	LE, SE (Lab. Testing)
3-4	Upgrading quality of laboratory practice under supervision for testing and diagnosis for avian influenza									↑																			Virology Dept.	SE (Lab. Testing)
3-6	Strengthening management system for registering highly pathogenic agents																												BS Dept.	LE, SE (BS)

Note: ↑ done by OJT or on NIHE's own
 → assisted by technical cooperation
 BS; Biosafety, MME; Materials and Medical Equipment
 LE; Long-term Experts, SE; Short-term Experts, JCC; Joint Coordinating Committee

